

九州大学大学院医学系学府修士学位論文（修士（医科学））審査基準

（審査体制）

1. 学位論文の審査及び最終試験は、本学府教授会において選定された論文調査委員2名（主査1名、副査1名）により行う。
2. 学位論文の審査及び最終試験の合格又は不合格は、論文調査委員の報告に基づき、本学府教授会が決定する。

（評価項目）

1. 研究主題探求に際して、その理論や背景を正しく理解しているか。
2. 研究主題探求のために採用された、理論、実験、シミュレーション、試作・試行、調査あるいは資料収集などの研究方法について正しく理解し、適切に運用しているか。
3. 問題設定から結論に至る論旨が、実証的かつ論理的に展開されているか。
4. 研究内容の発表に際して、論理的な説明ができているか。

（評価基準）

1. 上記1～4の評価項目すべてについて、修士学位論文として水準に達していると認められるものを合格とする。

九州大学大学院医学系学府博士学位論文（博士（医学））審査基準

（審査体制）

1. 学位論文の審査は、大学院委員会及び学府教授会において予備調査資格を有すると認められた者について、公開による学位論文予備調査会を開き、その結果合格と認められた者について、学府教授会に諮り、学位を授与するか否かを決定する。
2. 学位論文予備調査は、主査1名及び副査2名の審査委員の合議で行う。
3. 学位論文予備調査委員は、提出された学位論文の内容について、その専門性を考慮し、教授会構成員の教授から、大学院委員会において選出し、学府教授会において決定する。
4. 予備調査委員の選出には、病院長、指導教員及び提出論文の共著者は含まないこととする。

（評価項目）

1. 研究主題の背景について正しく理解し、その先行する研究に対して、精確な読解や的確な評価が行われているか。
2. 研究主題探求のための方法論について正しく理解し、その結果、適切な理論、実験、シミュレーション、試作・試行、調査あるいは情報収集を行っているか。
3. 研究主題について、その研究の将来の展望を十分に説明できるか。
4. 学位論文予備調査会において、予備調査委員の質問の半分以上に対して、適切に回答することができるか。

（評価基準）

1. 上記1～4の各評価項目について該当の有無を判定したうえで、総合的にA・B・C・Dの4段階で評価を行い、予備調査委員全員がC以上の評価を与えた者を予備調査合格とする。